

新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）に係る実績等について

	事業名	事業概要	事業分野・分類	事業期間	事業費	担当課
1	コンビニ交付サービス導入事業	窓口混雑の緩和及び待ち時間の短縮並びに住民サービスの向上を目的とし、全国の指定のコンビニエンスストア等でマルチコピー機により住民票の写し等の証明書を交付する。	行政サービス	R5. 4～R6. 3	29, 497 千円	市民課
2	子育て支援アプリ導入事業	妊娠期から出産・子育てまでを、「母子健康手帳機能」と「子育て支援機能」を組み合わせた子育て支援アプリを活用することで、乳幼児健診の記録、予防接種のスケジュールの自動調整、プッシュ型の通知及び子育て情報の掲載により、個々に応じた丁寧な子育て支援及び保護者の利便性向上を図る。	子育て 母子健康手帳アプリ	R6. 4～R7. 3	561 千円	健康推進課
3	保育園ＩＣＴ化推進事業	市内の市立保育園（全 9 園）に保育業務支援システムを導入する。現在、保護者は、保育園との連絡手段が限られており負担がかかっている。保育士は、日々の保育業務に加え、連絡事項の作成・配布などの事務は多大な負担となっており、園内でのトラブルを誘発しやすい現状である。その現状を改善・解決するために保育園のＩＣＴ化を推進する。ＩＣＴ化することにより保護者との意思疎通を迅速かつ的確に行うことができ、保育士・保護者の負担軽減・保育士の業務改善も図ることができることで、市全体の保育サービスの質の向上に寄与することができる。	子育て 保育所等業務のデジタル化	R6. 9～R7. 3	25, 858 千円	保育課
4	子育て支援アプリ拡大事業	令和6年度に導入した子育て支援アプリ「子育て応援 あまっこなび あまっこエール」に新規コンテンツとして、新たに「給食管理システム」を導入し、あま市立の保育園・小学校・中学校に通う保護者に向けて、保育園給食・小中学校給食の献立、産地表、給食だより等の給食に関する情報発信を行い、子育て支援アプリの利用促進を図る。 また、あま市立保育園・小学校・中学校に通う保護者だけでなく、全ての子育て世帯や市民に対し学校給食や離乳食のレシピの配信を行う。	子育て 母子健康手帳アプリ	R7. 5～R8. 3	5, 317 千円	学校教育課
5	市公式ＬＩＮＥ機能拡張事業	市公式ＬＩＮＥでは、登録した市民に対して一律に情報配信が行われていたため、受け手にとっては関心のない情報も含まれることが多く、情報の伝達効果が低下していた。情報をカスタマイズして配信し、必要な情報を必要な人に的確に届けることにより、情報の受け手が関心を持ちやすくなり、情報伝達効果の向上が期待できる。	住民サービス ＬＩＮＥを活用した情報発信等 住民ポータル	R7. 6～R8. 3	916 千円	情報推進課